

〈採集地〉

飾磨郡夢前町別車	1♀	10-VI-1970	col. 相坂
佐用郡久崎町秋里	1♂	14-VI-1970	col. 相坂
飾磨郡夢前町雪彦山	1♂	21-VI-1970	col. 相坂
姫路市林田町奥佐見	1♂	16-VIII-1975	col. 相坂
佐用郡佐用町若州	1♀	7-VIII-1977	col. 相坂
宍粟郡波賀町水谷	1♀	23-VII-1977	col. 尾崎
赤穂郡上郡町野桑	2♂	17-VII-1981	col. 相坂

○アオサナエ

Nihogomphus viridis OGUMA

中型のサナエトンボで、頑丈な体に全体緑色味の強いトンボで、平地の流水域で初夏に見られる。西播磨地方では産地は極限される。水面上をなわ張り活動をよくするのが目に入ることがある。

〈採集例〉

赤穂郡上郡町金出地	2♂	7-VI-1980	col. 三木
姫路市六角	3♂1♀	27-V-1983	col. 相坂
姫路市林田町八幡	2♂2♀	23-V-1982	col. 上野

○オナガサナエ

Onychogomphus viridicostus OGUMA

西播磨では目によくするサナエの仲間。スマートな体で中型種。夏期に出現して流水域にて生息する。

和名のオナガは雄の尾部上付属器が長大なことになんている。幼虫は平地河川の小石の多い場所にてみられる。

〈採集地〉

竜野市竜野町北竜野	1♂1♀	1-VII-1967	col. 相坂
姫路市林田町奥佐見	1♂1♀	16-VIII-1973	col. 相坂
飾磨郡夢前町糸田	1♀	12-VII-1982	col. 木村
竜野市神岡町東鯨崎	2♂	8-IX-1985	col. 相坂

○コオニヤンマ

名前にはヤンマがついているが、サナエトンボ科に属する。幼虫は低山地の溪流や河川の川底にへばりついていたような生活をおくっている。

我が国に産するサナエトンボ科では最も大型の種であり、西播磨地方では5月下旬～9月末にかけて成虫が見られる。幼虫の形は扁平で特異な型をしているため幼虫採集の際よく目立つ。

〈採集地〉

竜野市竜野町北竜野	1♀	16-VI-1967	col. 相坂
姫路市林田町奥佐見	1♂1♀	25-VII-1976	col. 相坂
佐用郡上月町	1♀	8-VII-1984	col. 相坂
竜野市竜野町	1♀	8-IX-1985	col. 相坂

○ウチワヤンマ

Ictinogomphus clavatus FABRICIUS

5月中旬より9月末頃まで見られる。主に開けた池や、ゆるやかな流れの河川などに生息している。

大きなサナエトンボで、♂♀ともに腹端近くに円形の付属物があるので、すぐ種類が分かる。

〈採集地〉

揖保郡御津町碓岩	2♂1♀	17-VIII-1978	col. 相坂
相生市池の内	1♂	17-VII-1981	col. 米村
姫路市飾西桜峠	1♂	10-VII-1983	col. 大川
〃 飾磨区今在家	1♂	11-VII-1983	col. 大川

以上により西播磨の蜻蛉、サナエトンボ科を修了したことになる。終わりにあたり、西播磨地方にて分布可能なサナエトンボ科として、コサナエおよびタイワンウチワヤンマをあげて本稿を終了したい。尚資料の提供や有益な御助言を賜った東輝弥、上田倫範、上野哲郎、大前晋、木村三郎、三木安貞、米村和繁の諸氏に深くお礼申し上げます。

参考文献

- 関西蜻蛉談話会(1975)近畿地方のトンボ、第1部ムカシトンボ科。ムカシヤンマ科・サナエトンボ科
 兵庫県生活部自然課(1974)兵庫県の自然の現状II
 大前晋(1979)夢前愛下流周辺の蜻蛉相、姫路市立科学館資料
 環境庁(1979)動物分布調査報告書(昆虫類)
 相坂耕作(1980)姫路市の昆虫：てんとうむしNo.7
 米村和繁・米村和也(1982)相生市の蜻蛉、てんとうむしNo.8。

(S.05:Kousaku Aisaka 姫路市)

梅雨明けの杉ヶ沢

山本健一

例年になく雨が降り続いた梅雨も明けた1986年7月10日、杉ヶ沢を訪れた。湿地周辺で11時から15時の間に、ウスイロヒョウモンモドキの♂2と♀の新鮮個体1を採集した。他に次の5種を採集した。

- ウラムスジシジミ
- ジョウザンミドリシジミ
- ウラギンヒョウモン
- ヒオドシチョウ
- コキマグラセセリ

(S.79:Kenichi Yamamoto 姫路市)